

自民部会、武器使用基準の議論始める

自民党は「武力行使法」の制定に向け、13日、「国際平和協力の一般法に関する合同部会」の初会合を開きました。それとともに、民主党に対し、継続審議になっている民主の「対案」を切り口に論議を始めようと申し入れました。公明党も勉強会を立ち上げています。これらは通常国会に法案を提出し審議入りをめざすもので、軽視できない動きです。



ウォッチ改憲動向

《2・10》高村外相が、ミュンヘンで開かれた安全保障国際会議で演説「恒久法の検討を進める」

《2・13》自民「国際平和協力の一般法に関する合同部会」（合同部会）の初会合。山崎拓会長「会期中に成案を得て、国会で審議を行うところまで進めたい」
▽中谷元会長代理が民主の鉢呂氏（「次の内閣」外相）に協議申し入れ。民主は拒否

《2・14》自民「憲法審議会」開催

《2・20》自民、第2回「合同部会」開催
▽国際平和協力の制度、法制を議論

《2・22》新憲法制定議員同盟が役員会。羽田、安倍、伊吹、鳩山(由)氏らが新顧問に。

二・一一全国で多彩な取り組み
二月一日、「建国記念の日」に反対して、全国で多彩な集会が開かれました。東京では憲法会議、歴史教育者協議会などが「九条の心をアジアに世界に、ともに広げよう歴史の真実を」と題する集会を開催、昨年を上回る三〇〇人余が参加しました。歴教協の石山久男委員長が挨拶し、関東学院大の林博史教授が「沖繩戦への教科書検定」、東京慈恵会医科大学の小沢隆一教授が「憲法9条の過去、現在、未来」と題してそれぞれ講演。都教組、出版労連、学生の代表が討論に立ちました。各地でも、石川憲法会議の「平和と民主主義を考える集い」などが開かれました。

「九条の会」講演会

～小田実さんの志を受けついで～

- 3月8日(土)開会13:30～
- C. C. Lemonホール(旧渋谷公会堂)
- 参加費：前売り券1000円(当日券1200円)

主催：九条の会

「憲法学習討論集会 in 近畿」のご案内

- ・講演「憲法めぐる新たな局面と改憲阻止の展望」森英樹氏（龍谷大学教授・名大名誉教授）
- ・特別報告、各県からの取り組み報告
- ・3月1日午後1時半～ 大阪市立飛鳥人権センター 参加費500円
- ・主催一中央憲法会議・大阪、兵庫、和歌山、京都、滋賀県憲法会議